

製品名: HXK I ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab12309**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	109kDa

抗原情報

遺伝子名	HK1
別名	HK1; Hexokinase-1; Brain form hexokinase; Hexokinase type I; HK I
遺伝子 ID	3098.0
SwissProt ID	P19367
免疫原	抗血清はヒト HXK1 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 31-80

背景

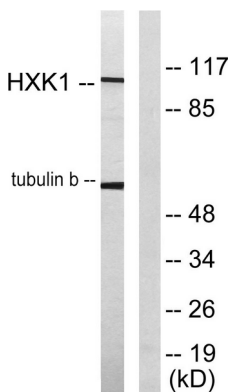
ヘキソキナーゼはグルコースをリン酸化してグルコース-6-リン酸を生成します。これはほとんどのグルコース代謝経路の第一段階です。この遺伝子は、ミトコンドリア外膜に局在する普遍的なヘキソキナーゼをコードしています。この遺伝子の変異は、ヘキソキ

ナーゼ欠損による溶血性貧血と関連付けられています。この遺伝子の選択的スプライシングにより、異なるアイソフォームをコードする複数の転写バリエーションが生じ、その一部は組織特異的です。[RefSeq 提供、2016年4月]、触媒活性: ATP + D-ヘキソース = ADP + D-ヘキソース-6-リン酸。、疾患: HK1 の欠陥はヘキソキナーゼ欠損症の原因です[MIM:235700]。ヘキソキナーゼ欠損症は、非球状溶血性貧血を主な臨床症状とする稀な常染色体劣性疾患である。、ドメイン: このヘキソキナーゼの N 末端側と C 末端側は、互いに広範な配列相同性を示す。触媒活性は C 末端側、調節機能は N 末端側に関連する。、酵素調節: ヘキソキナーゼは、その生成物であるグルコキナーゼ 6 リン酸によって阻害されるアロステリック酵素である。、その他: 脊椎動物には、ヘキソキナーゼ I、II、III、IV (グルコキナーゼ) と呼ばれる 4 つの主要なグルコースリン酸化アイソザイムが存在する。、オンライン情報: ヘキソキナーゼの入り口、経路: 炭水化物代謝;ヘキソース代謝。、類似性:ヘキソキナーゼファミリーに属する。、細胞内局在:疎水性 N 末端配列は膜結合に参与している可能性がある。、サブユニット:モノマー。、組織特異性:アイソフォーム 2 は赤血球特異的であり、アイソフォーム 3 とアイソフォーム 4 は精巣特異的である。、

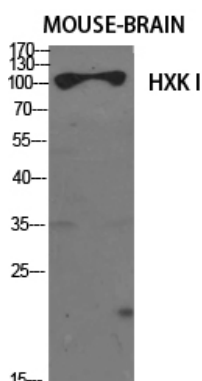
研究分野

解糖系/糖新生;フルクトースおよびマンノース代謝;ガラクトース代謝;デンプンおよびスクロース代謝;アミノ糖およびヌクレオチド糖代謝;インスリン受容体;2 型糖尿病;

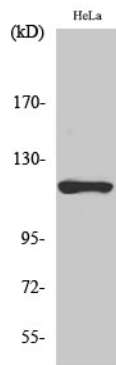
画像データ



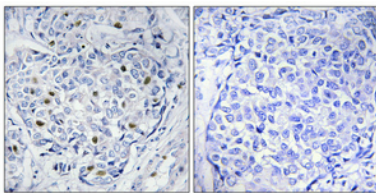
HXK1 抗体を用いた HeLa 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンには合成ペプチドでブロッキングされている。



1: 1000 希釈の HXK I ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析



1: 1000 希釈の HXK I ポリクローナル抗体を用いた HeLa 細胞のウェスタンブロット解析



パラフィン包埋ヒト乳がんの免疫組織化学染色。抗体は 1:100 (4℃、一晩) に希釈した。抗原賦活化には、高圧高温トリス EDTA (pH8.0) を使用した。抗体から得られたネガティブコントロール (右) は、免疫原ペプチドで前処理した。